

Kaisei news

回生ニュース

発行／特定医療法人齋寿会回生病院
編集／鈴鹿回生病院
所在地／鈴鹿市国府町112番地1
TEL／059-375-1212
FAX／059-375-1717
URL／http://www.kaiseihp.com
編集協力／TCK Nagoya



特定医療法人齋寿会回生病院

地域医療のコミュニケーション誌

Vol. 44

1月

Jan 2009

Community Magazine

Topics



今月の話題



特定医療法人齋寿会回生病院

理事長 長谷川 静生

新理事長としての抱負

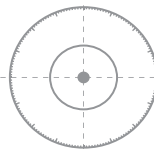
皆さん、明けましておめでとうございます。
この度、理事長職のバトンを引き継ぎました
長谷川静生です。前理事長とこの病院を支
えあってきた仲間の一人として、生きている
ものに愛情を持つという病院理念「生命へ
の奉仕」の思いに変わりはありません。
今年は、「医療法人齋寿会回生病院」が鈴鹿
の地にお世話になって満30年になります。
この年月はひとつの節目で企業は成長がなけ
れば30年の寿命で衰退すると言われていま
す。月日が経つにつれて支え合ってきた当時
の仲間は当然少なくなっていきますが、次の
世代を育て「更なる30年」に向かって新しい
一歩を踏み出していかなければならないと考
えています。

組織として 魅力ある病院にするには

鈴鹿回生病院の新築移転から8年、設備、
ハード面の整備には努めてきたつもりです。
又医学の進歩について行くためには今後もそ
の努力は重要な事です。同時に今年は一度原
点に戻りどうすれば真に医療に軸足を置いた
病院作りが出来るのか、私たちが何をしたい
かではなく、地域の皆さんから私たちは何を
求められているのかをよく考えてみたいと
思っています。

今後病院は淘汰の時代です。キーワードは
「質の向上＝中身があるか」「標準化＝全員が
出来るか」「社会性＝みんなの為になるか」。
迷ったら、この3つのキーワードに合致してい
るかどうか照らし合わせ、「何かあったら、あ
そこへ行こう」と思っていただけのような病院
づくりに努めたいと考えておりますので、今後
ともますますのご支援をお願いいたします。

両院長より新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。

地域に根ざしたよい病院をめざします。



鈴鹿回生病院 院長
田中 公

おかげさまで昨年は、日本医療機能評価機構ver.5更新の認定を受けることができました。これに満足することなく、今後もよりよい病院づくりをめざし、常に患者さんの声に耳を傾け、改善する努力を職員一同で行って参ります。

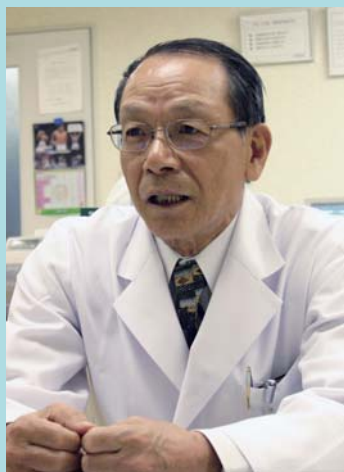
また地域で完結した医療の提供ができるよう診療所との連携をより深めるため、インターネットを通じて当院の電子カルテを閲覧できるシステムを構築しました。診療所から紹介していただいた患者さんの経過を診療所の先生がインターネット上でリアルタイムに見ていただくことが可能となりました。この試みは全国に先駆け、国の補助金をいただき行われている先進的事業のひとつで、現在まで約30施設ほどの利用申し込みを受けて運用

しています。

今年は、フィルムレスシステム（レントゲンやCT・MRIなどの画像を、電子カルテ上で見ることができるシステム）の導入準備を行い、4月には本稼働の予定です。導入後は患者さんも診察を受けながら画像を見ていただくことができます。また明るいニュースとして、新年度より臨床研修医を6名迎える予定です。今後もより一層、地域医療の発展に貢献できる人材の育成に力を注いで参ります。

よい病院にはいろいろな意味がありますが、患者さんにとってはもちろん、職員にとっても働きがいのある病院でありたい、そして、地域に信頼されるよい病院をめざしていきたいと思っております。

三脚によるパートナーシップを大切に。



鈴鹿回生病院附属クリニック 院長
坂倉 康夫

昨年も、外来の待ち時間では、患者さんに不快感をさせてしまうこともありましたが、当クリニックでは、患者さんの流れにあわせた人員配置換えを行い少しでも待ち時間を短縮できるよう努力いたしました。ただ、満足していただけるまでは改善できておりません。今年も引き続き、待ち時間短縮に向け工夫と努力を行ってまいります。患者さん・ご家族、そして医療者の三脚によるパートナーシップを大切にしていきたいと思っております。患者さん・ご家族にはお体の不安を何でも気軽に相談していただける環境を、また患者さんには私ども医療者の助言を尊重していただきたいのです。そして私たちが患者さん・ご家族のパートナーとして治療のお手伝い

ができたかと思っております。

私は、新入職員に必ず話すことがあります。それは、気が病むと書いて「病氣」。英語ではdisには「奪われる」という意味があり、easeには「やすらぎ」という意味があります。やすらぎを奪われると書いて「disease」。すなわち「病氣」です。それはつまり、病気を抱えて来院される患者さんは、「やすらぎを奪われて」いるということです。根本は心の傷ついた人たちが我々は受け入れるのだという考え方が必要だと思っております。

全職員が医療スタッフの一員であるという自覚を持って対応できるよう、さらなる教育を実践し患者さんに満足していただけるよう努力してまいります。

連携医療機関紹介

白子クリニック



院長の二井 栄先生

小児科を併設しています。

白子クリニックは、国道23号体育館前の交差点を南東へ500メートルほどのところにあります。院長の二井 栄先生は、昭和51年（1976年）に三重大学医学部をご卒業後、塩浜病院（現在の県立総合医療センター）で10年間の勤務医を経て、平成3年（1991年）平田 浩医師（現在副院長）とともに、この地に開業されました。開業当初は産婦人科を中心に診療を行い、小児科は予防接種などの健診が主だったそうです。というのも、産婦人科と小児科の待合が同じだったため、風疹や、熱のある子供などが受診することで、妊婦さんとうつってしまう危険性や、感染の原因となることを避けたかったそうです。とはいえ、白子クリニックで産まれるお子さんが増えてくるとそうも行かなくなり、平成13年に産婦人科と小児科を分離し小児科診療を本格的に開始。現在、産婦人科医3名、小児科医2名を筆頭に約60人体制で診療しています。

産婦人科医不足について

三重県産婦人科医会会長でもある二井先生に、産婦人科医不足についてお話を伺いました。——昨今の痛たましい残念な事件の背景には、私たちも頭を痛めています。マスコミは「たらいまわし」という言葉を使いますが、決して本意ではないのです。訴訟が多く、人員不足による過重労働で

益々産婦人科医師が不足しているのです。産婦人科は「周産期医療（出産など）」「生殖医療（不妊治療など）」「腫瘍（がんなど）」の3つの分野に分かれます。中でも、私どもが担当する「周産期医療」においては、「新しい命の誕生」という、他の科では味わえない感動がありますが、訴訟の圧力など危険も伴います。今後は開業医が1人でやっていくのは厳しい時代です。開業医同士がライバルだった時代もありましたが、これからは開業医同士が連携して、地域を守っていく事が私たちの使命だと思います。また、現在の日本では、20代の産婦人科医の70%が女性医師です。しかし、女性は出産や子育てで一旦リタイヤします。ただ5年も休んでしまうと、医学の進歩は早いため現場に戻ってきにくくなります。そのため、パートタイムでも働くことが可能であるなど、少しでも現場に戻ってきやすい工夫が必要であると考えます。——



産婦人科医にしか

味わえない喜び

新しい命が芽生える分娩の感動を知り、産婦人科医を目指されたという二井先生、最近うれしいことがあったそうです。「このところ立て続けに、むかし私が取り上げた子が、出産に訪れましてね。『私、先生にとりあげてもらったんですよ』と母子手帳をみせてくれました。母子手帳には私の名前があり、とてもうれしかったですね。これは医者冥利につきます。この喜びは産婦人科医にしか味わえない喜びだと思います」と、うれしそうに話して下さいました。そんな先生に今後の白子クリニックについ

DATA

TEL 059-388-2221

住所

鈴鹿市南江島町9-15

診療科目

●産婦人科

●小児科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時00分～6時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	×	○	○	○	○
午後	○	○	×	○	○	◎	×

◎土曜午後は2時から4時まで

休診日

日曜午後、水曜、祝日

ホームページ

<http://www.shiroko-clinic.com>



て伺うと、「数年前まではアメニティに力を入れようと思ったこともありましたが、現在でも食事にフランス料理を出すなど、若い方の関心を寄せているところもありますが、私は、自ら研鑽を積み医療に力を注ぎたいと思います。アメニティも大切ですが、万一の時、患者さんに安心していただける医療の提供をこころがけて参りたいと思います」。

今後も、先生のご活躍を期待しています。





輸血療法とは

赤血球や血小板が減少したり、それらの機能が低下する病気や、手術中の出血の場合に血液を補充し、患者さんの状態を改善あるいは維持をして、十分な治療を受けられるようにすることです。

施設の安全対策の保証「I&A」取得に向けて

当院は患者さんにより安全な輸血療法を受けていただく為に、「I&A」の認定取得に取り組んでいます。「I&A」とは、日本輸血学会から、輸血の安全性が保証された施設に与えられる認定制度です。認定の取得には血液製剤の徹底した管理や、安全確保のための指導を十分にする必要があります。その取り組みの一つとして、血液型・輸血交差適合試験を行う全自動輸血検査装置を導入しました。これにより休日や夜間の緊急な輸血の場合でも正

確、迅速な検査が行えるようになりました。現在、審査は無事終了し、日本輸血学会からの認証を待っている状態です。



自動輸血検査装置によって出た結果を、検査技師が再度チェックを行っているところです。

輸血後にも安全確認を行います

医学・検査方法の進歩により、輸血によって感染症にかかる可能性は極めて稀になってきていますが、必ずしもゼロではありません。近年、不幸にも輸血により感染症にかかれた患者さんの為に、救済制度が創設されました。当院では輸血療法を受けられた後の、患者さんの感染症の確認検査を積極的に推進しています。



血液センターより届けていただいた製剤を血液センターの方と、検査技師の2人で確認をしながら入庫を行っているところです。

適正な輸血療法を監視しています

当院では輸血監査委員会を立ち上げ、輸血を受ける患者さんに対して、製剤の種類や使用量の適正を監視しています。当院には、輸血に関するスペシャリストである輸血認定医、輸血認定技師が在籍しています。安全な輸血療法を患者さんに受けていただけるよう、知識、技術の研鑽に励み、安全性を維持することに日々勤めています。



臨床検査課 輸血担当



ご意見箱にお答えします。

Q 一般用エレベーターについて

車イス使用者に介護人が付き添って乗ると、狭くて一般者が乗れない。何度もあり、階段を使用した。ベッド専用は一般人は使用できない旨、注意書きがある。

A ご不便をおかけして申し訳ございません。ベッド専用エレベーターの隣の大型エレベーターについては、一般の方のご利用も可能となっておりますので、よろしく願いいたします。

◆◆ お褒めの言葉をいただきました ◆◆

4Aの看護師さん、介護さん、掃除してくださる方々、リハビリの先生、整形の先生、本当に親切に、よくしてくださいました。おかげ様で、術後の不安や痛みなどがだんだんと和らぎ、心身ともに元気を取り戻すことができ、快適な入院生活を送ることができました。本当にありがとうございました。お世話になりました。

A お褒めのお言葉ありがとうございました。今後とも患者さんに喜ばれるサービスの提供に努めていきたいと思っております。



腰痛体操ワンポイントアドバイス

リハビリテーション課 理学療法士

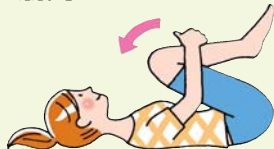
小林 美寿季



疲労により背中や腰の筋肉がかたくなることで腰痛がおこる場合があります。背中や腰周りの筋肉をほぐし腰痛を予防しましょう。

両膝かかえ

両手で膝を抱え込み背中を丸くします。背中の中の筋肉をほぐしましょう。



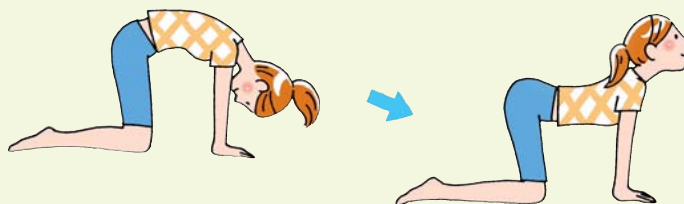
腰ひねり

あおむけになり、両手を広げ、両膝をひきよせ、横に倒し体をひねります。左右ともに行います。骨盤の周りの筋肉をほぐしましょう。



猫の姿勢

肘を伸ばして四つばいになります。息を吸いながら背中を丸めおへそを覗きます。次に息を吐きながら背中を反り、天井を見ます。これをくり返します。背骨の関節や筋肉をほぐしましょう。



- 入浴等で温めてから行うとより効果的です。
- 息を止めずにゆっくりと行いましょう。
- 一つの動きにつき20秒程度保持し一日数回に分けて行いましょう。
- 痛みがある場合は無理な運動は避け、早めに医師に相談しましょう。

発信@

栄養管理室

管理栄養士
岡 久美子



牡蠣

ピックアップ食材

牡蠣の 炊き込みご飯



● 牡蠣 (かき)

牡蠣と言えばマガキ、イワガキなどが有名ですが、品種の分類上は100種類以上とされています。「海のミルク」と呼ばれるように、丈夫な身体づくりに欠かせないたんぱく質だけでなく、カルシウムや亜鉛といったミネラルと呼ばれる栄養素も豊富に含まれています。中でも亜鉛は体内に必要なミネラルとして、免疫機能の向上、創傷治癒、味覚感知など大きな役割を担っており、牡蠣を3つ食べれば1日に必要な亜鉛を摂取出来ます。また、あまり聞き慣れない葉酸やビタミンB12などのビタミン類も多く含まれるので、口内炎や貧血予防にも役立ちます。

● 他の食材との組み合わせ

牡蠣は鍋物、チャウダー、グラタンなど和・洋・中華料理と料理のレパートリーは豊富です。亜鉛はビタミンCやクエン酸と一緒に摂取すると吸収がよくなるので、生ガキや牡蠣フライでレモン汁をかける食べ方は理にかなっていると言えます。さらに、春菊や小松菜などの緑黄色野菜に含まれるβ-カロテン、ビタミンC・Eなどの抗酸化ビタミンをしっかり補給することで美容だけでなく、生活習慣病予防の効果も期待出来ます。また、亜鉛は牡蠣、レバー、鯖や鰯などの青魚、牛肉、エビなどの動物性食品からの摂取がほとんどですが、日本では穀類からの摂取が多いと言われていいますので、野菜を加えて炊き込みご飯にすれば、不足しがちな食物繊維なども補うことが出来ます。

材料4人分

米	2合分
牡蠣	200g (加熱用)
片栗粉	少々
エリンギ	100g
ごぼう	100g
春菊	100g
薄口醤油	大2杯
酒	大2杯
みりん	大2杯
出し汁	2合分
(市販の顆粒だしなら2~3g程度)	

栄養成分1人前

エネルギー	390kcal
たんぱく質	12.2g
脂質	2.0g
亜鉛	8.9mg
【18~69歳の1日推奨量】	
	男性9mg、女性は7mg
食物繊維	3.7g
塩分	約2.0g

【作り方】

- ①米は洗米し、30分以上水に浸しザルにあげておく。
- ②牡蠣は塩水で手早く洗ってザルにあげる。
- ③鍋に水を入れ、沸騰したら水とき片栗粉を入れ「トロリ」としたら、牡蠣を入れて下茹でしておく。
- ④ごぼうはササガキに切り、水にさらす。
- ⑤エリンギは、ごぼうと同じくらいの大きさに切り下茹でしておく。
- ⑥春菊は2cm程度に切り、さっと茹でておく。
- ⑦炊飯釜に①を入れ、出し汁を2合分まで入れ、100cc分だけ取り出してAを入れ軽く混ぜ合わせ、牡蠣、ごぼう、エリンギを入れて炊飯する。
- ⑧炊き上がったたら具を混ぜ合わせる。
- ⑨器に盛り、春菊をのせて完成。



Xmasコンサート

12月20日(土) 病院エントランスホールにて毎年恒例のクリスマスコンサートが開催されました。今年は当院職員によるハンドベル・三味線演奏や合唱の他に、小学1年生から中学1年生で構成された西部少年少女合唱団によるコーラスが加わり、子供たちのきれいな歌声に訪れた患者さんの表情も自然と笑顔になっていました。



鈴鹿少年野球教室

毎年恒例の鈴鹿少年野球教室が11月22日(土)に開催されました。阪神タイガースのOBで結成されている「天地会」のメンバー吉田義男元監督らによる指導に子供たちは喜んで練習に励んでいました。



聖十字看護学校生病院見学

2009年1月より新たに聖十字看護専門学校の臨地実習を受け入れます。それに先立ち、第1期生である2年生40名が当院の見学に訪れました。全体オリエンテーションのあと、グループにわかれて院内の施設・設備を見学し、いよいよ始まる本格的な臨地実習にむけての意気込みを新たにされているようでした。将来活躍が期待される看護師の育成を、当院も支援していきたいと思えます。



接遇委員会ロールプレイング

接遇委員会では「接遇美人」を全職員の年間目標とし、年4回 職員による接遇向上ロールプレイングを行っています。また、院内掲示物や接遇マニュアルの作成、挨拶運動や接遇アンケート等様々な活動を活発に行い、接遇の向上に努めています。



かいせいきっず info

12月20日(土) 回生キッズのクリスマス会が行われました。プレゼントを持ったサンタさんが現れ、子供たちは大喜び!!



健康セミナーのお知らせ

1月31日(土) 第二回健康セミナーを行います。みなさん、ぜひお越し下さい。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院玄関)

編集後記

今回は「新年のご挨拶」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505
三重県鈴鹿市府府町112番地

TEL059-375-1212
mail:info@kaiseihp.com

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

私たちの目標

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします